Feel the arts

伝国の杜だより

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール
Autumn 2019
Vol.36

【山形県指定文化財】徒然草図屏風〔前期〕（米沢市上杉博物館）／【重要美術品】太刀 銘 国宗　戒杖拵（個人）

特別展

上杉家
武家の文化 公家の文化

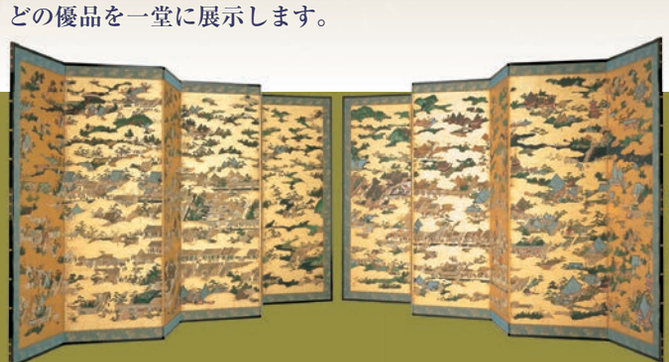
戦うだけが武士じゃない！

2019年
9月21日(土)～11月24日(日)

前　　期：9月21日(土)～10月20日(日)
後　　期：10月26日(土)～11月24日(日)
休 館 日：9月25日(水)
開館時間：9：00～17：00(入館は16：30まで)

上杉氏は、遠祖藤原鎌足(ふじわらのかまたり)以来その系譜を引く、貴族であった勧修寺(かじゅうじ)流藤原氏の出身です。鎌倉時代、武士としての歩みを始めました。そして、関東管領(かんれい)の職と上杉の姓を継承した上杉謙信、その生家である越後守護代(しゅごだい)長尾氏も勢力拡大のために朝廷や室町幕府の権威を必要としました。また、米沢藩主となった上杉氏も、格式化された幕藩体制下の大名として、朝廷や江戸幕府への儀礼は欠かせないものでした。その歴史の中で、古文書や美術工芸品など上杉家にもたらされた武家と公家の文化を検証していきたいと思います。

武家文書研究の最高峰である国宝上杉家文書(うえすぎけもんじょ)の価値と魅力は広く知られるところですが、あらためて紹介するとともに、上杉氏や長尾氏と朝廷や公家とのやりとりの文書に着目し、新たな発見をご紹介したいと思います。同時に上杉家伝来の絵画、文芸書、刀剣、装束などの優品を一堂に展示します。



国宝「上杉本洛中洛外図屏風」
原本展示
10月26日(土)～11月24日(日)

博物館無料入館
11月3日(日・祝)
東北文化の日
参加事業
常設展・企画展とも、
どなたでも無料!

博物館からのお知らせ ▼

消費税増税に伴い、2019年10月1日より常設展入館料が次の通り一部改定されます。
◆常設展　一般※410(330円)／高大生※210(150円)／小中生※110(60)円
※改定部分　(　)は20名以上の団体料金

特別展　上杉家　武家の文化　公家の文化

前期：9月21日(土)～10月20日(日)　休館日：9月25日(水)
後期：10月26日(土)～11月24日(日)

料　金　一　般　620円(490円) → 変更なし
高大生　400円(320円) → 420円(330円)
小中生　250円(200円) → 270円(210円)

※(　)は20名以上の団体料金。→ は10月1日(火)以降の料金。
※常設展示室と一体型。この料金で全館ご覧いただけます。

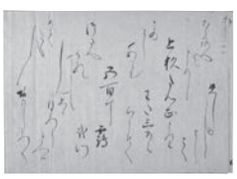
関連事業

◆「十二単」着装実演　9月21日(土)10:00～11:00
冷泉通子氏(衣紋道研究家)
企画展示室にて、要特別展入館料。

◆講演会「武家の発生と公家文化」11月9日(土)10:00～12:00
藤本孝一氏(龍谷大学客員教授)
伝国の杜2階大会議室にて、先着120名、入場無料。

◆ギャラリートーク(展示解説)
「上杉家の中の公家文化」　10月5日(土)14:00～
「米沢善本の魅力」　10月12日(土)14:00～
佐々木紀一氏(山形県立米沢女子短期大学国語国文学科教授)
「展覧会見どころ案内」　10月26日(土)14:00～
「国宝上杉家文書の中の公家様文書」　11月16日(土)14:00～
※10月12日以外の担当は、当館学芸員角屋由美子。
企画展示室にて、要特別展入館料。

主な出品資料　(　)は所蔵者
【国宝上杉家文書】(当館)
(永禄2年)上杉謙信宛近衛前久書状(前期)／天文9年8月5日後奈良天皇女房奉書(宸翰)(後期)／赤箪笥 乾(後期)・坤(前期)
【重要文化財】長尾上杉氏印章(個人)
【重要文化財】上杉謙信所用濃縹平絹直垂(上杉神社)
【重要美術品】太刀 銘 長船長光／文永十一年十月廿五日(当館)
【米沢市指定文化財】
源氏物語・平家物語・太平記・ふんしゃう(文正草子)(市立米沢図書館)
短刀 無銘(豊後瓜実)
黒漆合口拵(上杉神社)


【国宝上杉家文書】
後水尾天皇
女房奉書(宸翰)(前期)

【初公開の上杉家旧蔵資料】

刀 無銘(伝吉廣 号小唐柏)(当館)

堆朱香盆・香合(当館)

コレクション展　米沢藩 武士のお仕事
～戦士・役人・芸達者～

会　期　2020年1月11日(土)～3月22日(日)
※2月18日(火)以降、一部資料を展示替
休館日　毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
料　金　一　般 210(160)円、高大生110(80)円
小中生　50(40)円　※(　)は20名以上の団体料金。

戦いがほとんど無くなり、平和が続いた江戸時代。米沢の武士たちは、どんな仕事をしていたのでしょう。
一口に米沢藩士といっても、家老から足軽以下まで身分に応じて様々な役目がありました。戦士としての軍事組織を基本としながらも、領内の統治や主君・上杉家に奉仕するため様々な役職に就きました。医師・絵師・諸職人といった技芸を専門とする者も召し抱えられていました。中・下級藩士や陪臣の場合は、乏しい俸給を補うため内職も盛んでした。
本展示では、実に多彩な米沢藩士の仕事を紹介し、時にサラリーマンにもたとえられる、江戸時代の武士の生きざまを探ります。

長尾家伝来
紫茶糸威具足

◆ギャラリートーク(担当学芸員が分かりやすく展示を解説)
1月11日(土)「展覧会の見どころ」
2月1日(土)「米沢藩士の調べ方」
3月7日(土)「米沢藩士の仕事百景」
各回14:00～、企画展示室にて、要企画展入館料。

【初公開】若井牛山筆
小嶋熊蔵像(部分)

なせばなる…　国宝「上杉家文書」上杉鷹山書状　原本展示(2月16日まで)

モールの作品展示予定
Uesugi Museum Art Collection

総合案内前では、当館アートコレクションを定期的に入れ替えながら展示しています。
ご来館の際は足を止めてご覧ください。

9月26日(木)～11月26日(火)
「アイヌのくじらとり」　田島征三

11月28日(木)～2020年1月21日(火)
「老松と若竹(置賜文化ホール能舞台鏡板下絵)」
福王寺法林
「月映るころ(置賜文化ホール緞帳原画)」
福王寺一彦

1月22日(水)～3月24日(火)
「静物(桃とびわ)」　椿貞雄
「静物(りんご三つ)」　椿貞雄

＊展示作品は都合により変更になる場合があります。

常設展示室上杉文華館
下半期の展示およびコレクショントーク(CT.展示解説)

年間テーマ：米沢初入部250年記念
「上杉家文書」にみる上杉鷹山

2019年度の上杉文華館は、江戸で生まれ育った9代米沢藩主上杉鷹山が、初めて米沢入り(初入部)を果たして今年で250年に当ることを記念して、国宝「上杉家文書」から鷹山に関わる文書を中心に展示していきます。これまで展示していない初公開の文書に、著名な史料を交えてご覧いただきます。今年度から展示期間が変わりますのでご注意ください。

④9月23日(月・祝)～11月21日(木)「敬老の心」　CT　A 10/6(日)・B 11/4(月・祝)
⑤11月22日(金)～1月19日(日)「老いと病」　CT　A 12/1(日)・B 1/5(日)
⑥1月21日(火)～3月20日(金・祝)「大名として」　CT　A 2/2(日)・B 3/1(日)
※内容は変更になる場合があります

CTについて
・各回14:00～、要常設展入館料。
・Aは上杉家文書、Bは洛中洛外図を中心に解説。

教育普及事業　創る・見る・聞く・感じる

プレイショップ

造形を通して
ものづくり・発想の
たのしさを。
昔遊びや手わざも体験！

9月27日(金)～11月26日(火)
紙粘土で秋の和菓子づくり
季節感あふれるうつくしい和菓子をつくろう。

11月29日(金)～1月22日(水)
型絵染のカードづくり
クリスマスカードや、年賀状をつくろう。

1月24日(金)～3月25日(水)
ぬってキコキコ ひっかき絵
ぬってひっかいて、一味ちがった
お絵かきを楽しもう。

※申込不要（団体利用はご予約下さい。）
※ワークショップなどのある日はお休みです。
　教育普及だよりの年間カレンダーをご覧ください。

チルドレンキュレーターズ

昨年度から挑戦しているオリジナルのものづくりワークショップ。今年は8月3日に2事業を行い、さらにバージョンアップして参加者に大好評でした。これからも暮らしを明るく楽しくするものづくりに挑戦していきます。

ペーパー芯のおはなのリース
～すずしいいろとすずしいねいろ～
対象：未就学児

和綴じの知恵～すてきな型染和紙をつかって～
対象：小学4年生以上

自由参加制ワークショップ

申込不要・参加無料

むかしむかしを聞こう
（米沢とんと昔の会）
9 月28日(土)11：00～／14：00～
10月12日(土)14：00～、体験学習室

米沢弁の楽しい昔語り

★むかしむかしを聞こうスペシャル
昔語りの日　11月10日(日)
10：00～15：00（出入自由）2F大会議室

募集制ワークショップ

要申込・参加費 各500円

粘土でつくる
キャンドルホルダー
10月19日(土)13：30～16：00
対象：小中学生20名
申込：9/18（水）～

だれもしらない博物館
～博物館バックヤードツアー～
11月3日(日)13：30～16：00
対象：どなたでも20名
申込：10/2（水）～

ナイトツアーようこそ夜の博物館へ
洛中洛外図をたのしむwith洛洛案内人
国宝を
楽しく鑑賞！
11月15日(金)19：00～20：30
対象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）
申込：10/16（水）～

紋切りで暮らしを彩るものづくり
～美しく季節を楽しむ～
12月15日(日)13：30～16：30
対象：中学生以上20名
申込：11/13（水）～

出前授業、スクールプログラムの事例などはHPに掲載。お気軽にご相談ください。　お問合せ0238-26-8001（教育普及担当）

収蔵品

学芸ノートから

三日月（みかづき）

福王寺一彦（ふくおうじかずひこ）　2018年（2019年補筆）　紙本彩色　81×117cm

福王寺一彦（1955～）は米沢市出身の日本画家・福王寺法林（米沢市名誉市民・山形県名誉県民、2004年文化勲章受章）の次男として東京都三鷹市に生まれました。

父法林に師事し、1978年「追母影（おもかげ）」で日本美術院展（院展）初入選。2001年には、「月の耀（かがや）く夜に（三）」で日本芸術院賞を日本画部門史上最年少（46歳）で受賞します。現在日本芸術院会員、日本美術院同人（評議員）、日本美術家連盟理事、日本美術著作権協会会長として国内芸術界の最前線で活躍しています。

父法林譲りの美しい青の色彩を根底として、さらに独自の技法による奥深い青や緑を生み出し、その透明感あふれる美しいマチエールと輝きには、一彦の自然への尊敬と感謝の思いが込められています。本作は、あえて色彩を極限まで絞り込み、見上げた三日月の光と、その

光により黒々と映し出される木々の枝の重なりを独自の繊細な技法で表現しています。中央の鳥には一彦を象徴する深く美しい青が施され、自然の中で生かされている自らを投影させています。

ホールからのお知らせ

お問い合わせ
0238-26-2666（伝国の杜 置賜文化ホール）

※掲載の内容は追加・変更となる場合があります。

託児サービス

観たい公演をあきらめなくてもいいサービスがあります

■ 利用料　1,000円
■ 対　象　6か月以上から小学校入学前まで
※要事前申し込み

お子さま連れでも安心♪
ぜひご利用ください！

10/13(日) 9：30～ おきたまの秋空に響け! 吹奏楽の日コンサート2019

国民文化祭やまがたを機にスタートした恒例企画。内奏と庭奏を同時進行します。当地ゆかりの音楽家を紹介する新コーナー「特別演奏」には、ソリストとして活躍する一方でPRO WiND 023や山響演奏会にも出演するフルート奏者の鈴木芽玖を中心に、白田美羽（オーボエ）、樋渡彩（クラリネット）の木管トリオが登場。

入場無料

オーボエ 白田美羽

フルート 鈴木芽玖

クラリネット 樋渡彩

11/9(土) 14：00～ ボニージャックス&ベイビー・ブー 令和に歌う大正・昭和・平成のメロディー

「美しい日本の歌」を愛する結成60周年の老舗コーラスグループボニージャックスと、声だけで魅せるコーラス・エンターテイメントベイビー・ブー によるコンサートです。

＜予定曲目＞
「この道」「高校三年生」「じいじのシンデレラ」他

販売中:全席指定　3,500円（当日4,000円）

ボニージャックス&ベイビー・ブー

12/7(土) 14：00～ 聖夜のトランペット Christmas Special Concert

ヴィム・ファン・ハッセルト
©MarcoBorggreve

世界の名手が贈るクリスマスシーズンにぴったりのコンサート。2006年の開催時には、変化に富んだ音色を聞かせてくれる卓越の技術に、客席から大きな拍手が贈られました。今回登場する名手は、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団で活躍したヴィム・ファン・ハッセルトとピアニストのヴィタリー・スタヒエヴィチ。ガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」やニニ・ロッソ「夜空のトランペット」など、おすすめのナンバーが盛りだくさんです。

冬の夜空に鳴り響くトランペットの澄み渡る音色をご堪能ください。

♪金管楽器クリニック(通訳つき)～演奏が楽しくなるコツを学ぼう～
日時　2019年12月6日(金)18:00～20:00
会場　置賜文化ホール
内容　①トランペット奏法のコツを学ぼう（Tp持参の方みなさんご一緒に）
②金管楽器アンサンブル・クリニック（申込制・限定2団体）

申込要項は10月発表予定(受付期間10/13～11/13)

クリニックの様子

販売中:全席自由　一般3,000円　学生1,000円　（当日各500円増）

1/13(月・祝) 15：00～ 山響とみんなで創る音楽会inおきたま

主催:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・(公財)米沢上杉文化振興財団

2020年は、新時代のキックオフイベントとも言われるオリンピックが開催されます。置賜文化ホールでも新年を華やかに祝う演奏会を開催します。

山形の音楽文化をけん引する山形交響楽団が、中学生とともにヴェルディ作曲の歌劇『アイーダ』より"凱旋行進曲"を演奏。世界でもっとも有名なオペラ作品のひとつでもあり、そのメロディは、サッカーの応援サポーターが声高らかに歌い上げるチャントとして有名です。また、オリジナル合唱団と山響のコラボステージ等もご期待ください。

ticket

一般発売日　10/31(木)
伝国の杜FC会員先行予約期間　10/23(水)～27(日)

全席自由　一般1,100円　高校生以下500円（当日　各200円増）
※未就学児は入場不可（託児サービスあり）

ticket **チケット購入方法**

◇土･日･祝日を含め開館日の9時から17時まで取り扱い。発売初日も9時から購入できます。
◇事務室での購入か、電話予約が可能です。予約後は1週間以内に事務室で引き換えをするか、郵便振替をお願いします。

※購入後は主催者の都合で公演が中止となる場合を除き、払い戻しできませんのでご注意ください

1/30(木) 18：30～ カナディアンブラス

2016年に米沢を魅了した金管五重奏が更にパワーアップしてやって来る!

多彩なレパートリーと全ての人が楽しめるパフォーマンス、そして高度なテクニックで大好評のカナディアン･ブラスによるコンサートです。

メンバー（左から）
[トランペット] ケイレブ･ハドソン ／ ブランドン･ライデナワー
[テューバ] チャック･デーレンバック　[ホルン] ジェフ･ネルセン
[トロンボーン] アキレス･リアルマコプーロス

曲名（予定）:アイルランド民謡「ダニー･ボーイ」（ロンドンデリーの歌）
モーツァルト「トルコ行進曲」、ピアソラ「リベルタンゴ」他

ticket

一般発売日　10/31(木)
伝国の杜FC会員先行予約期間　10/23(水)～27(日)

全席指定　一般3,000円　学生1,000円（当日 各500円増）
※未就学児は入場不可（託児サービスあり）

2/16(日) 14：00～ 三遊亭好楽･林家たい平 二人会

三遊亭好楽

林家たい平

伝統芸能として受け継がれてきた型をしっかりと守り、古典落語ならではの面白さを伝えていく三遊亭好楽と、明るくエネルギッシュな笑いで独自の落語の世界を創り上げていく林家たい平。米沢の厳しい冬を笑いで吹き飛ばす話芸を是非ご堪能ください。

ticket

一般発売日　11/14(木)
伝国の杜FC会員先行予約期間　11/6(水)～10(日)

全席指定　3,800円　（当日4,300円）
※未就学児は入場不可（託児サービスあり）

新規メンバー　募集中!!

伝国の杜こども狂言クラブ

昨年度の春休み発表会より（創作狂言「猿かに」）

置賜文化ホールでは、地域にゆかりのある日本の伝統文化「能楽」の魅力を伝えていくため、こども狂言の稽古、発表に取り組んでいます。現在、小学1年生から中学3年生まで8名の子どもたちが、3月に開催する春休み発表会に向けて毎月1～2回の狂言･小舞の稽古をしています。講師は、東京で活躍されている野村万蔵家（萬狂言）一門の狂言師です。

学校とは違うお友達と和の礼儀作法も学びながら、みんな仲良く稽古を楽しんでいます。5歳から体験できますのでお気軽にお問合せください。

2019年度活動計画（予定）
11月30日(土)　「置賜こども芸術祭」出演（飯豊町）
2月8日(土)　「雪に舞う集い」出演（伝国の杜）
3月22日(日)　「春休み発表会」出演（伝国の杜）

よねざわ市民ミュージカル 伝国座

発足から10年。金曜夜に市内のコミュニティセンターで小学生から大人までが発声や歌、ダンスの自主練習を続けています。さらに毎月1回、SCSミュージカル研究所（仙台市）の本格的な指導を受け、ミュージカルに必要な基本的な力をつけるためのレッスンが行われています。小学生の保護者からは表現力を養うことは社会で役に立つことが多いと、とても好評です。

年度末成果発表　2020年3月21日(土) 14：00 開演予定

伝国の杜通信 ▼

最近の催事から

■5月11日（土）講演会「尾張徳川家の姫と婚礼調度」

特別展「上杉家　葵の姫のものがたり」の関連事業として、徳川ミュージアムマネージャー学芸員の吉川美穂氏をお招きして開催。展示資料に加え、尾張徳川家の資料と比較検討しながらお話いただきました。講演会で婚礼調度の見方や楽しみ方を知り、終了後に改めて展示室で資料に見入る方も多かったようです。

■5月18日（土）
こども能楽ワークショップ　～大人と楽しむ"能･狂言"～

米沢金剛会と萬狂言の所属メンバーを講師に招き、地域に所縁のある「能楽」に親しむワークショップを開催しました。狂言の笑う･泣く･食べるなどのしぐさをまねてみたり、能面をつけて舞台を歩いてみたりするなど貴重な体験に、子どもたちは満足気な様子でした。

■6月15日(土)～8月4日(日)
企画展「生誕100年 日本画家 福王寺法林～自然へのまなざし～」

米沢出身の文化勲章受章日本画家福王寺法林の作画への不屈の精神、自然と向き合った清廉なまなざしとライフワークを紹介。福王寺一彦氏（3ページ参照）による6回のギャラリートークや市内小中学校への出前事業も開催し、好評を博しました。

■8月1日（木）
Jazz Café Live　～大村武司トリオ&テリー橋本～

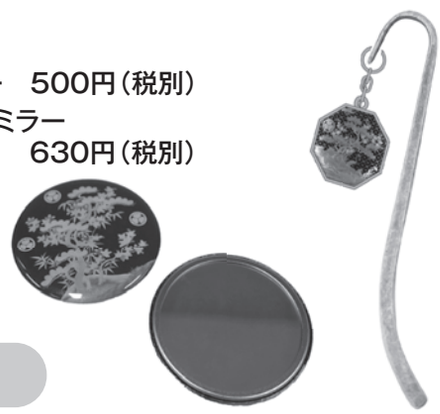
毎年恒例の、ミュージアムカフェライブ。今回はキーボードの大村武司率いるトリオに、ボーカルのテリー橋本を招いて熱いライブを開催。往年の名曲や、懐かしの歌謡曲のジャズアレンジなどが披露され、華やかな時間となりました。

■ミュージアムショップから

新商品紹介　「葵の姫」たちの婚礼調度品がおしゃれなグッズになりました

当館所蔵資料をモチーフにした、オリジナルグッズが新発売。八角形のチャームに「松竹梅鶴亀葵紋蒔絵具桶」の蓋があしらわれたブックマーカーは華麗な古今色。「橘松竹葵紋蒔絵鏡箱」は手の平サイズの可愛らしい缶ミラーになりました。繊細で美しい蒔絵柄が豪華です。自分使いにも贈り物にもおすすめです。

◆松竹梅鶴亀葵紋蒔絵具桶
チャーム付ブックマーカー　500円（税別）
◆橘松竹葵紋蒔絵鏡箱　缶ミラー
630円（税別）



今年、米沢入部250年の
上杉鷹山グッズも
好評販売中!

通信販売はネットショップで!
http://uesugi-museum.jp

＊伝国の杜日記＊
道の駅米沢にミュージアムショップ商品を展示!

9月1日（日）～9月30日（月）の一か月間、道の駅米沢で当館ミュージアムショップの商品を展示します。2018年4月にオープンし、連日大賑わいの道の駅米沢では、主に米沢の歴史や文化をテーマとした展示を行っています。当館でも今回この展示コーナーに参加することになりました。

数あるミュージアムグッズの中でも厳選した商品を展示しますので、道の駅米沢にいらした際はぜひご覧ください。なお、商品購入は当館ミュージアムショップか通信販売のみとなっております。皆様のご来館をお待ちしております。

◎道の駅米沢　※問い合わせは9:00～18:00
米沢市大字川井1039－1
Tel:0238－40－8400

ナセBA（市立米沢図書館･よねざわ市民ギャラリー）からのお知らせ

米沢市中央１丁目10-6
TEL　図書館：0238-26-3010 ／ギャラリー：0238-22-6400

◆2019読書週間図書館フェア
10/25（金）～11/10（日）
バックヤード（書庫）ツアー、本と雑誌のリサイクル市、雑誌の付録抽選会など各種イベントを予定しています。

昨年のバックヤードツアーの様子

◆第30回古典文学講座（全3回）
①11/16(土)「古今和歌集」と「新古今和歌集」（石黒志保）
②11/23(土)「源氏物語の音楽について」（仮）（岩原真代氏）
③11/30(土)「伊佐早謙の漢詩を読み解く」（仮）（新宮学氏）
各回14:00～15:30、ナセBA1階体験学習室にて、資料代500円（3回分）、定員40名。申込は電話などにて図書館へ。

◆「ARTS MEET OKITAMA 2020」&「A.M.O.2019大賞高橋幸子展」
2020年3/14(土)～3/22(日)
置賜ゆかりの方を対象とした公募展及び前回の大賞受賞者の個展を開催。1Fギャラリーにて、入場無料。

サポーター

伝国の杜サポーター　募集中です♪

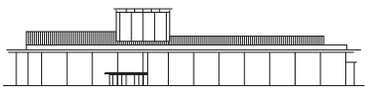
当館で活躍しているボランティア「伝国の杜サポーター」は、お客様と接する活動と、影で支える活動と様々な分野があります。10代から80代まで元気に活動中です。現在はインフォメーション（観光案内など）、教育普及、洛中洛外図案内人、図書整理、広報といった分野で新規メンバーを募集しています。お気軽にお問合せ下さい。

図書整理（館内設置チラシの整頓）

最近の活動から　■図書館サポーターとの合同研修会

10月20日に市立米沢図書館のサポーターの方と合同で「ハンディキャップを持った来館者へサポーターができることは何か」をテーマに研修を開催。両館での実例を交えながら、様々な来館者の方に喜んでいただけるよう、職員と共に学びます。詳細はサポーター登録者の方にご案内します。

広げよう文化ボランティアの輪　お問合せ 0238-26-8000（サポーター担当）



伝国の杜ファンクラブからのおしらせ
■2019年度会員募集中♪

お得に 深く 楽しむ 知る 気軽に 何度も たくさん 学ぶ

年会費	
一般会員	2,500円
学生会員	1,000円
ジュニア会員	500円

※会員期間は4月1日～翌年の3月31日まで

※10月1日以降は左記の半額

2019年度会員特典

- ●会員証の提示で米沢市上杉博物館の特別展・企画展・コレクション展・常設展を何度でも（同伴者1名は団体割引）
- ●置賜文化ホール自主事業チケットの先行予約・割引価格での購入（会員1名につき先行予約4枚まで・割引2枚まで・一部公演のぞく）
- ・募集制ワークショップに1回無料で参加（1回無料券の進呈）
- ・ファンクラブ会員向けの講座・イベントへの参加（年2回程度）
- ・ミュージアムショップで展覧会図録・オリジナル商品10%割引（委託商品のぞく）
- ・ミュージアムカフェでの10%割引（同伴者3名まで）　他。

ファンクラブ事業　会員限定
城下絵図デジタルマップと楽しむ
まちあるき

当館ホームページで公開中の「明和六年米沢城下絵図」デジタルマップを活用して、城の構造や城下町の名残を探しつつ、伝国の杜周辺を歩いてみませんか?

日時：2019年11月2日（土）
　　10：00～12：00
講師：伝国の杜サポーター前山みゑ子さん
　　当館学芸員　佐藤正三郎
対象：伝国の杜ファンクラブ会員
定員：20名　　参加費：無料
※申し込み受付中

座の文化伝承館からのお知らせ

住所 米沢市丸の内一丁目3-48
電話 0238-23-8009　火曜休館

10月19日（土） 無料
①13：00～②15：00～
リコーダーアンサンブル花音（かのん）コンサート
会場：座の文化伝承館・蔵

蔵の雰囲気を楽しみながら座って音楽を聴く無料コンサート。今回は川西町を中心に活動しているリコーダーアンサンブル花音による、リコーダーコンサートを開催します。

学生時代に一度は触れたことのあるリコーダーの懐かしくも新しい音色を、大きさの違いも楽しめるアンサンブル演奏でお聞き下さい。

・各回定員30名、整理券を伝国の杜・座の文化伝承館で配布。

開催報告

6月1日（土）～6月16日（日）
蔵展示「米沢の絵葉書」

米沢市上杉博物館所蔵の米沢に関する絵葉書100枚以上から厳選し、明治から戦前にかけての米沢の寺社や温泉地、観光地などの様子を紹介。伝国の杜サポーターの有志が、絵葉書の撮影地推定、年代や周辺情報の調査、展示作業などに参加し、新たな情報発見につながりました。会期中400名以上の方が来館し、絵葉書スライドショーなども好評を博しました。

サポーターも参加しての展示設営

6月16日（日）
第29回市民茶会

協力　米沢茶道連合会

香り豊かな抹茶と、色や形で季節を表した伝統和菓子をいただく市民茶会が開かれました。参加者は、軸飾りや茶庭の愛で方などの解説を聞き、茶碗を回してお茶を飲む所作を習うなど、それぞれの関心を深めることで楽しみながら茶席を体験しました。

地元の高校茶道部員もお茶や菓子を運び活躍

展覧会

G：ギャラリートーク（企画展示室展示解説）　C：コレクショントーク（常設展示室展示解説）　講：講演会・講座

企画展示室

10
9/21（土）
↓
11/24（日）
特別展
上杉家 武家の文化 公家の文化

※前　期：9/21（土）～10/20（日）
後　期：10/26（土）～11/24（日）
休館日：9/25（水）

11
十二単着装実演 9/21（土）10：00～11：00
冷泉通子氏（衣紋道研究家）／要特別展入館料

講演会　11/9（土）10：00～12：00
「武家の発生と公家文化」
藤本孝一氏（龍谷大学客員教授）
聴講無料、定員先着120名。

G　毎回　14：00～、要特別展入館料
10/5（土）「上杉家の中の公家文化」
10/12（土）「米沢善本の魅力」
佐々木紀一氏（米沢女子短期大学国語国文学科教授）
10/26（土）「展覧会見どころ案内」
11/16（土）「国宝上杉家文書の中の公家様文書」
*10/12以外の担当は当館学芸員：角屋由美子

・11／3（日・祝）東北文化の日 **無料入館**（どなたでも）

12
11/25（月）～2020年1/10（金）は常設展示のみ
12/27（金）～2020年1/1（水）年末年始休館

2020
1
1/11（土）
↓
3/22（日）
コレクション展
米沢藩 武士のお仕事
-戦士・役人・芸達者-

2
※休館日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）
G　毎回　14：00～、要コレクション展入館料
1/11（土）「展覧会の見どころ」
2/1（土）「米沢藩士の調べ方」
3
3/7（土）「米沢藩士のまなざし」

常設展示室

上杉文華館
◇テーマ

9/23（月・祝）～
11/21（木）
◇敬老の心
C A10/6（日）
B11/4（月）

11/22（金）～
1/19（日）
◇老いと病
C A12/1（日）
B 1/5（日）

1/21（火）～
3/20（金・祝）
◇大名として
C A 2/2（日）
B 3/1（日）

コレクショントーク（C）のうち
Aは国宝上杉家文書、
Bは国宝上杉本洛中洛外図屏風を中心に解説。

教育普及事業

記号について
■：募集制ワークショップ（要事前申込）
○：自由参加制ワークショップ（申込不要）

■10/6（日）13：30～
展覧会ポスターのペーパーバッグづくり

○10/12（土）14：00～
むかしむかしを聞こう④

■10/19（土）13：30～16：00
粘土でつくるキャンドルホルダー

■11/3（日・祝）13：30～16：00
だれもしらない博物館
～博物館バックヤードツアー～

○11/10（日）10：00～15：00
むかしむかしを聞こうスペシャル
昔語りの日

■11/15（金）19：00～20：30
ナイトツアー　洛中洛外図をたのしむ　with洛洛案内人

■12/15（日）13：30～16：30
紋切りで暮らしを彩るものづくり
～美しく季節を楽しむ～

プレイショップ

◆9/27（金）～11/26（火）
紙粘土で秋の和菓子づくり

◆11/29（金）～1/22（水）
型絵染のカードづくり

◆1/24（金）～3/25（水）
ぬってキコキコひっかき絵

ホール

10/13（日）9：30～
吹奏楽の日コンサート2019

11/9（土）14：00～
ボニージャックス&ベイビー・ブー

12/7（土）14：00～
聖夜のトランペットChristmas Special Concert

1/13（月・祝）15：00～
山響とみんなで創る音楽会 in おきたま

1/30（木）18：30～
カナディアンブラス2020

2/16（日）14：00～
三遊亭好楽・林家たい平二人会

3/8（日）14：00～
ファミリーコンサート -伝国の杜オーケストラと遊ぼう-

3/21（土）14：00～
よねざわ市民ミュージカル成果発表会

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 室町時代 狩野永徳筆

勧進聖（かんじんひじり）（左隻4扇）

路傍で台に乗る僧侶は、寺院の建設や修理などの資金を募る勧進聖です。勧進聖は、寺院の縁起（えんぎ）、霊験（れいげん）や奇瑞（きずい）、説話を人々に語って聞かせ、募金を求めました。そのためにはただ話をするのではなく、人を引き込む話術が必要でした。台の上で上半身を前に乗り出すような勧進聖の姿は、リズムに乗って雄弁を振るっているようにも見えます。

それに応えて、通りすがりの婦人がお金を差し出そうとしています。その手は、勧進聖の隣にいる小僧が持つ柄杓（ひしゃく）に伸びています。募金は柄杓で受けることになっていて、勧進聖と柄杓はセットになるものでした。

3人の婦人は行楽の道中でしょうか。洛中の秋の一コマです。

◆利用案内◆

※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052　山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000（代）（公財）米沢上杉文化振興財団）
0238-26-2660（FAX）
0238-26-8001（米沢市上杉博物館）
0238-26-2666（置賜文化ホール/チケット・施設利用）
ホームページ　https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp
ブログ　http://samidare.jp/denkoku
（公財）米沢上杉文化振興財団ホームページ
http://uesugizaidan.or.jp/
伝国の杜 検索
博物館開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）
博物館休館日：5月～11月　第4水曜日（休日の場合その直後の平日）
12月～3月　毎週月曜日（休日の場合その直後の平日）
年末・元旦（今年度は12/27～1/1）
※1/2、3は休まず開館予定。
ホール休館日：毎週月曜日（休日の場合その直後の平日）/年末年始
博物館入館料（常設展）
※消費税増税に伴い、10月1日以降は→の通り常設展示料金を一部改定。
→のない区分は変更なし。
一　般　410(320→330)円　高大生　200→210(150)円
小中生　100→110(60)円　※（　）は20名以上の団体料金
※特別展・企画展は別途。
※特別展開催期間は常設・企画一体型料金のため異なります（2ページ）。

伝国の杜 Feel the arts DENKOKU NO MORI

「伝国の杜」の“伝国”という言葉は、米沢藩9代藩主上杉鷹山が天明5年（1785）上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。

■発行/米沢市上杉博物館 置賜文化ホール　■編集/公益財団法人 米沢上杉文化振興財団　■発行日/2019年9月　■印刷/株式会社カワサキ印刷